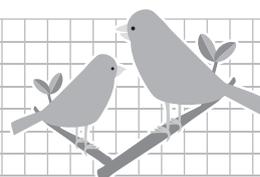


卸売(商業卸)	消費税増税前の駆け込み需要の反動により前年同月比で売上が減少している。また、今後の消費者の購買意欲低下を懸念している。
小売 (自動車販売)	5月の新車販売台数は、登録自動車が1,621台(前年同月比89.9%)、軽自動車が2,229台(同99.7%)となり、合計3,850台(同95.3%)であった。なお、前月に比べて、消費税増税前の駆け込み需要の反動減による落ち込み幅は小さくなっている。
小売 (石油販売)	県外企業や大型小売店に併設している安価なガソリンスタンドの影響により、低価格競争が激化しているため、利益を確保できず苦戦を強いられている。
小売 (クレジット)	消費税増税の影響により、家電や家具等の販売数量が減少に転じ、婦人服などの衣料関連商品も売上が不振であった。
商店街	5月は売上に大きな変動はなく、消費税増税前の駆け込み需要の反動減も予想の範囲内であった。(大館市)
サービス (旅行)	国内旅行は、消費税増税前の駆け込み需要による反動減により、前年同月比77.0%となり2割ほど売上が減少した。また、海外旅行は、タイの政局的問題や韓国船沈没事故等の影響で同80.0%となり、国内、海外旅行ともに低調に推移した。
建設業 (一般建築)	震災関連の公共工事があるが、石油製品の値上がりのため材料コストが大幅に増加している。そのため、採算が合わず2次製品を多く使用する工事は不調、不落が続いており、景況が良いとはいえない状況となっている。
建設業(管工事)	5月は例年同様、資材の動きが少ない状況となっているが、ようやく工事の発注案件が出てきたため、来月以降の売上増加を期待したい。
運輸業 (トラック)	前月同様に輸送量は回復しておらず、燃料価格の上昇が長期間続いているため、厳しい経営状況となっている。
その他の製造業 (砂利採取)	骨材の採取の動きが若干好転傾向となっており、昨年、国へ河川砂利採取について要望書を提出した結果であると考えている。(中央地区)

話題の広場



アラカルト ● a la carte ●

■経済団体に対し新規高卒者の雇用について要請



【意見交換の様子】

6月13日(金)、秋田県商工会館「ホール80」において、経済5団体に対し、佐竹敬久秋田県知事や小林泰樹秋田労働局長等による新規高卒者の県内就職についての要請が行われ、本会からは高橋清悦専務理事が出席し、小林泰樹秋田労働局長から要請書を受け取りました。

佐竹知事や小林秋田労働局長は、今春は新卒者の就職率が良かったものの、県内就職については前年比マイナスとなったことや、平成27年度は全国的な求人数の増加により、秋田県内と大都市圏の人材獲得競争の激化が予想されることから、求人票の早期提出や早期内定について経済団体の積極的な対応を求めました。

これに対し本会高橋専務理事からは、「企業においては、若年層の職場定着率の低さが問題となっていることから、本会では今年度、『あきたの若者職場定着促進事業』を実施し、若年者の雇用状況や定着率等を調査するとともに、成功事例の分析や専門家を活用して問題解決を図る等、若年者の職場定着率を向上させ、優秀な人材の確保に結びつけたい。」と話しました。

なお、平成27年3月の高校卒業予定者に対する求人受付は6月20日から開始されています。会員組合及び組合員企業の皆様方におかれましては、高校卒業予定者に対する採用枠の拡大と求人票の早期提出について、ご協力をお願いします。



【要請書を受け取る高橋専務理事(左)】

■街路灯のLED化で自治体と連携 ～能代山本電気工事協同組合～

能代山本電気工事協同組合(小野義光理事長)では、山本郡三種町に対し、ESCO事業の活用による経費節減効果について提案し、町内の街路灯のLED切替工事とその後10年間の維持管理業務について共同受注しました。

当組合が三種町の組合員を通じ、街路灯のLED化による電気代の節約や、民間委託による維持管理費の節減について繰り返し提案を行った結果、三種町議会で事業化が検討され2月に仮契約を行い、先月、町議会の予算決定を受けて正式に契約を締結しました。なお、ESCO事業の活用による三種町の経費節減効果は10年間で1,800万円と試算されています。

事業計画では、9月30日までに新たな設置を含む3,250基のLED切替工事を完了することとなり、三種町の組合員が順次切替作業を行い、既に半数近くの切替が終了しました。

小野理事長は、できるだけ多くの組合員が携われるよう、今後、他地区においても積極的な提案活動を行い、ESCO事業の共同受注を目指すこととしています。



【LED切替作業の様子】

ESCO事業とは

事業者が省エネルギーに関する包括的なサービスを提供し、省エネルギー効果で生まれた利益を報酬として受け取る仕組みのこと。

新理事長紹介

役員改選により、下記の方々が新しく理事長に選出されましたので、ご紹介します。

秋田製材協同組合(秋田市)

理事長 小松 隆明さん

組合員名：三光製材株式会社

役 職：取締役

改 選 日：平成26年5月26日

鹿角市花輪新町商店街振興組合(鹿角市)

理事長 切田 利明さん

組合員名：有限会社切田屋

役 職：代表取締役

改 選 日：平成26年5月29日

秋田県商工振興協同組合(秋田市)

理事長 藤澤 正義さん

組合員名：秋田県鐵構工業協同組合

役 職：理事長

改 選 日：平成26年5月30日

協業組合秋田クリーン(秋田市)

理事長 加藤 宗初さん

組合員名：有限会社太平

役 職：代表取締役

改 選 日：平成26年6月13日

—会員組合の皆様へ—

本コーナーでは、平成26年4月1日以降の理事長交代について紹介させていただきます。

新しい理事長が選出された場合は、毎月20日までお知らせいただいた方について、翌月号で紹介いたしますので、本会企画広報課までお知らせください(☎018-863-8701)。

併せて、組合のイベント情報などもお寄せください。

支援団体活動レポート

平成26年度通常総会を開催、新役員を決定 ～秋田県商店街振興組合連合会～

6月11日(水)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において秋田県商店街振興組合連合会(平澤孝夫理事長)の平成26年度通常総会が開催され、平成25年度の事業報告及び収支決算が承認されたほか、平成26年度事業計画、収支予算等すべての議案が満場一致で原案どおり可決決定されました。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、理事長に平澤孝夫氏(秋田市駅前広小路商店街振興組合理事長)、副理事長には塚本真木夫氏(能代市畠町商店街振興組合理事長)がそれぞれ再任されました。

今年度は、県内商店街活性化のための各種事業を実施するほか、昨年度に引き続き、全国商店街振興組合連合会の補助事業である地域商店街活性化事業の応募申請窓口として県内商店街に積極的な働きかけを行い、本補助金の活用促進を図るとともに、応募申請に関する支援を行うこととしています。

平成26年度通常総会を開催、新役員を決定 ～あきた食品振興プラザ～

6月24日(火)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、あきた食品振興プラザ(後藤一会長)の平成26年度通常総会が開催され、平成25年度の事業報告及び収支決算が承認されたほか、平成26年度事業計画、収支予算等すべての議案が満場一致で原案どおり可決決定されました。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、会長に後藤一氏(秋田県菓子工業組合理事長)、副会長には矢吹達夫氏(秋田県豆腐油揚商工組合理事長)、小玉真一郎氏(秋田県酒造協同組合理事長)、近藤隆平氏(秋田県製麺協同組合理事長)がそれぞれ再任されました。

今年度は、昨年度に引き続き業界振興に貢献できる人材の育成事業や、商品開発及び商品改良を支援する開発支援事業等を行うほか、新たに販売促進支援事業を実施することとしています。

販売促進支援事業では、10月に本県で開催される第29回国民文化祭に合わせ、来場者向けに共同でショッピングカタログを作成するほか、関連イベントの情報提供等を通じ会員の販促活動を支援する予定です。



【総会の様子】

第38回アパレル産業機器展 東北ミシンショーが開催

～秋田県アパレル産業振興協議会～

6月7日(土)・8日(日)の2日間にわたり、横手市の秋田ふるさと村ドーム劇場において東北六県縫製団体連合会による東北ミシンショーが11年ぶりに本県で開催されました。

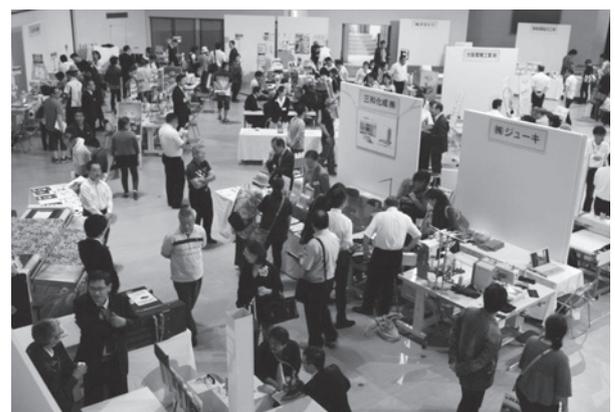
ミシンショーは、秋田県アパレル産業振興協議会(佐々木繁治会長)が実行委員となり、縫製関係事業者の情報交換のみならず、地域全体のにぎわいを創出することを目指して各種イベントを企画しました。

当日は、高橋大横手市長らによるテープカットで開場し、最新アパレル機器や縫製業各社が製作したアパレル製品が多数展示されたほか、来場者にその場で写真撮影したプリントを施したトートバッグのプレゼントや、全国でも珍しい移動販売車によるオーダーメイドスーツの現地販売を行う等工夫を凝らし、県内外から2日間で延べ5,325人が来場(前年度比115%)し大成功を収めました。

なお、来年度も横手市の同会場にてミシンショーを開催する予定です。



【テープカットの様子】



【ミシンショーの様子】